

ビワ生育情報

第 2 報
千葉県農林水産部
令和 7 年 1 1 月号

3 品種ともに平年よりも着花房率が高く、花つきが良くなっています。花房の充実を図るためには、摘房により、着花房率を 60% 程度に調整することが重要です。

樹及び花房の発育

着花房率を表 1 に示した。本年の着花房率を品種別にみると、「楠」が 96.6%、「大房」が 83.7%、「田中」が 92.9% で、3 品種ともに平年よりも高かった。着花房率が高いため、摘房による花房数の調整が重要である。花房の着生は、中心枝及び果痕枝に多く、副梢にもやや多くみられる。1 つの花房に着生する花数は平年並みである。

本年の日照時間は 7 月～9 月にかけて平年よりも多く、樹の生育は順調である。花房発現（出蕾）期は平年並み～やや遅く、10 月 31 日時点で花房の発育は平年並み～やや遅い。「田中」は開花が始まっている。今後の気象にも影響を受けるが、現時点では開花の進みは平年並み～やや遅いと思われる。

表 1 着花房率(暖地園芸研究所)

品種	本年 (%)	平年 (%)	前年 (%)
楠	96.6	86.0	94.9
大房	83.7	82.1	88.0
田中	92.9	78.0	92.0

平年：平成 7 年～令和 6 年の 30 年間の平均

着花房率：花房数 / 1 年生枝数 × 100

令和 7 年 10 月の気象

令和 7 年 10 月の半旬別の気象を表 2 に示した。平均気温は第 1～第 4 半旬で平年より高く推移し、第 5 半旬は平年より低く、第 6 半旬は平年並みであった。月平均気温は 19.5℃ で平年より 0.8℃ 高く、前年より 1.9℃ 低かった。

降水量は第 4、第 6 半旬は平年よりも多く、第 1～第 3、第 5 半旬は平年より少なかった。月合計は 212mm で、平年の 83%、前年の 95% であった。

日照時間は第 1、第 4、第 6 半旬で平年並み、その他の半旬は平年より少なかった。月合計は 78 時間で、平年の 56%、前年の 60% であった。

表 2 令和 7 年 10 月の気象(アメダス館山市)

半旬	平均気温 (℃)			降水量 (mm)			日照時間 (hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	22.4	20.8	24.9	20	45	61	18	21	27
2	22.6	20.0	21.2	1	47	46	11	21	17
3	20.1	19.2	20.2	26	43	2	1	22	43
4	20.7	18.2	22.0	66	41	57	20	22	13
5	14.7	17.3	21.4	31	40	3	1	23	20
6	16.5	16.5	18.5	69	40	56	27	29	10
平均/計	19.5	18.7	21.4	212	255	224	78	138	128

※ 各気象データについては暖地園芸研究所内の観測機材が不調のため、アメダスデータ(館山市)を引用。表の数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

12月の作業

気温が低下すると、ビワの枝葉や根の伸長はほとんど停止するが、開花は続き、幼果は少しずつ肥大する。12月には防寒の準備を行い、また、来春に向けて、苗木の植え付け準備にとりかかる。

防寒の準備

開花期は品種や花房ごとにばらつきがある。開花の早い花房は遅い花房に比べ、幼果が冬期の低温に遭遇する可能性が高まる。早い花房を残す場合には、寒害に充分留意する。毎年1～2月に寒波が襲来しているので、年内から防寒の準備を始める。

幼木の防寒法としては、こもがけあるいは枝を結束する方法があり、あらかじめ資材を用意しておく。成木園では園内を加温する方法があり、火点設置場所の整備、ヒーター及び燃料の手配をしておく。また、防霜ファンの設置によって、放射冷却現象を緩和させることも有効である。

植え付け(定植)と植え穴の準備

ビワの根の伸長は3月上旬から始まるので、苗の植え付けの適期は2月中下旬頃である。植え穴の準備は年内に済ませておく。改植の場合には、白紋羽病の発病跡地は極力避ける。やむを得ず発病跡地へ植え付ける場合は、フロンサイドSCを使用 방법에従い土壌かん注する。また、前作の根は白紋羽病の発生源になるので、土中に残さず取り除くことが重要である。

新植の場合、苗の植え付け距離は3～3.5mとし、10a当たり80～110本を植え付ける。樹冠の広がりに合わせて間伐を行い、最終的な栽植距離は6～7m、10a当たり20～27本の永久樹を残すようにする。

害虫の発生状況及びカメムシの発生予測

平年と比べ、9月下旬時点でのアブラムシ類の発生及びカミキリムシ類の被害穴は少ない。なお、来年のカメムシ類発生量は中程度と見込まれている。詳しくは、農林総合研究センター病害虫防除課の発生予察情報（カメムシ類については令和7年度 病害虫発生予報第4号）を参考にする。

(<http://www.pref.chiba.lg.jp/lab-nourin/nourin/boujo/index.html>)

※ 農薬の登録内容は変更になる場合があるため、農薬使用の際は最新情報を確認する。

発行：千葉県農林水産部生産振興課園芸振興室

【問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室

電話 0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>